



## ●いましる史跡今城塚古墳

高槻市域には大小約500基の古墳が存在しており、三島古墳群と呼ばれています。この三島古墳群を代表する今城塚古墳を紹介します。

今城塚古墳はJR摂津富田駅から北へ1.5km、徒歩20分のところにあり、墳丘の周囲には二重の濠がめぐらされ、総長約350m、総幅約340mの大きさを誇る淀川流域で最大級の前方後円墳です。昭和33年2月に国の史跡に指定されました。

今城塚の名前は、戦国時代に城砦が築かれたことに由来するといわれてきましたが、これを裏付けるように近年の調査で火縄銃の弾丸が発見されました。

古墳の北側内堤でみつかった埴輪祭祀場では、高さ170cmの日本最大の家や、人物、動物など136体以上の形象埴輪が出土しました。亡き大王との別れを惜しみつつ、新たな大王が即位する場を表現したと考えられています。

墳丘の形状や出土埴輪から6世紀前半に築かれたと考えられ、学術的には531年に没した第26代継体天皇の真の陵墓であると言われています。現在は国民共有の文化財として恒久的な保存が図られる一方で、市街地の中の貴重なオープンスペースとして、市民に親しまれています。



北側上空からみた今城塚古墳



魚と鳥の絵を飾る高床の家（埴輪祭祀場出土）

平成16年度から市民の歴史学習や散策と憩いの場をめざして史跡公園化整備に着手しました。平成23年春には水とみどりの壮大な歴史的空間が出現する予定です。

1500年前の世界に思いをはせながら、ぜひ今城塚古墳を訪れてみてください。



### ▼お問い合わせ先▼

高槻市教育委員会社会教育部文化財課  
TEL 072-674-7652

高槻市教育委員会社会教育部文化財課  
埋蔵文化財調査センター  
TEL 072-694-7562